



下呂市農業委員会だより

令和元年11月1日発行

vol.15

下呂市農業委員会

下呂市萩原町羽原 2605-1 TEL.0576-53-2010 <http://www.city.gero.lg.jp/> → 行政情報 → 市政の情報

新しい農業委員会委員が決定しました

任期満了に伴い、新たに農業委員14名、農地利用最適化推進委員12名が決定しました。農地に関する相談は地元委員までお願いします。

●委員の紹介

任 期：令和元年10月1日～令和4年9月30日

(写真下：上段＝委員番号・氏名・カッコ内農業委員、推進委員の別 下段＝担当地区)



1 山下 康子(農)

大島・坂下・長瀬・赤沼田



2 上野 耕正(農)

落合・湯屋・大洞



3 大森 公治(推)

岩崎・門坂・無数原・大垣内・小坂町



5 嶋田 浩(農)

宮田・大ヶ洞・奥田洞・上呂



6 熊崎 みどり(農)

尾崎2区・尾崎3区・四美



7 中島 義彦(農)

桜洞・萩原



8 林 忠和(推)

山之口・尾崎1区



9 中川 輝男(推)

上村・花池・中呂



10 田中 覚章(推)

古閑・跡津・西上田



11 二村 昭司(農)

名丸・井谷・惣島・西村



12 小林 寿(農)

中切・堀之内・名丸(萩原)



13 川口 太三(推)

川上・黒石・数河



14 鎌倉 誠也(農)

宮地



15 細江 忠光(農)

門和佐



16 中島 尊治(農)

御殿野・野尻



17 松嶋 光秋(推)

夏焼・田口・蛇之尾



18 熊崎 博(推)

久野川・火打・和佐・焼石・三ツ淵・瀬戸・保井戸・門原



19 中島 次郎(推)

乗政



20 二村 正明(推)

東上田・湯之島・森・小川・幸田・少ヶ野・三原



22 高木 康則(農)

渡・下原町・中津原・福来・中切



23 佐古 健(農)

菅田桐洞



24 日下部 道男(推)

菅田笹洞



25 井戸 克彦(推)

弓掛・乙原・岩瀬・祖師野



26 佐古 正昭(推)

田島・大船渡・金山



下呂市に
Uターン
したい方!

下呂市に
移住を
お考えの方!

地元新卒者
や転職
したい方!

下呂市で「プロ

市内新規就農者増加中!!

下呂市では、国の事業の活用や、田舎暮らしが見直される今、新規に就農しようとする方が増加しています。

●新規就農者・研修生の受け入れ状況 (うち女性6人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
就農人数	1	1	4	3	5	4	2	6	6	32

研修生／現在8人 離農者／0人

●基幹品目

品目名	人数
飛驒トマト	24
飛驒ほうれんそう	3
水稻	1
畜産	3
花き	1
計	32

●出身地

	人数
下呂市内	17
岐阜県内	2
他都道府県	13
計	32

農業をはじめするには

技術 **資金** **農地** が必要です。

それらを一からサポートするのが、
市・県・農業委員会・JAひだ・認定農業者協議会からなる

下呂地域担い手育成総合支援協議会です。

1 相談窓口

まずは、市農務課が相談に応じます。疑問や不安なことなどなんでもお問合せください。
(品目によってはサポートできない場合があります)



市が主にすすめているのは特産物である「夏秋トマト(飛驒トマト)」です。夏秋トマトは、下呂市の気候から比較的安価な雨除けハウスで栽培することが可能で、一人の労力からでも安定した単収が見込めます。また、JA等、販売体制も整っています。



2 研修先をあっせんします

先進農家において、実践的な栽培技術や農業経営のノウハウについて1~2年間学んでいただけます。
おためしの短期研修あり。

光熱水費
込み!!

3 研修生住宅を用意しています

使用料は1人200円/日。長期なら1人3,050円/月です。
家具、家電付き。

4 就農支援制度があります

農業次世代人材投資事業(国事業)の手続等を行います。農業経営を始めるにあたり、開始の要件・条件にあった支援をします。



5 農地、空き家をあっせんします

地域の方々からの情報をもとに、われわれ農業委員会が借入のあっせんをします。

空地



6 経営開始後のサポート

県(普及指導員)、農協(営農指導員)が栽培技術指導や経営相談に応じます。

新規就農者紹介



H27年就農

飛驒トマト

ほうれん草

渡邊 昌敏さん(31歳)

愛知県出身。大学卒業後、青果市場に就職し販売のノウハウを学びながら、就農場所を探していたところ、就農イベントで立ち寄った下呂市ブースで、担当者の熱意に惹かれ来市を決意。2年間の研修を経て独立し、就農5年目を迎える。夏はトマト、冬はほうれん草を栽培し、現在は近所の人をパート雇用するなど地域とも密接な関係を築いている。昨年結婚。今年8月には長男が誕生するなどプライベートも充実。

ほ場	萩原町桜洞、上村
経営面積	1.24ha
施設・機械	パイプハウス29棟、管理機、動力噴霧器 灌水設備、軽トラック、トラクター

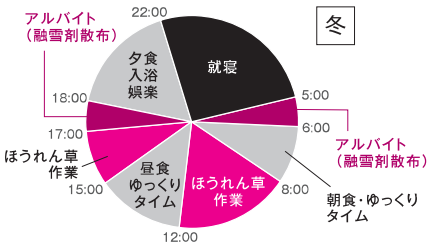
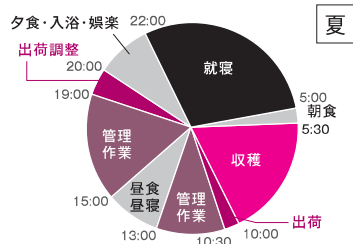
下呂市を選んだのはズバリ「人」です。最初、愛知県内で探そうと就農窓口にお問い合わせしたんですがピンとこなくて。下呂は市の担当者、研修先の先生、本当に親身になってくれました。就農してからも、ほ場の近所に農家が多いこともあり、皆さん親切にしてくださり恵まれています。パート雇用の話も、ハウスの横を散歩で通りかかる人と世間話をする間柄になって、手伝える人知っているけどどう?って言うてくださったのがきっかけです。後から聞けば、研修先の先生の親戚だったんですけど(笑)これも縁ですよ。ありがたいです。➤

「農家」になりませんか？



僕は農家になるのが夢だったので、今こうして農業をできることは素直に楽しい。トマトの状態をよく見て、今何が一番必要か、病気がでてないか、誘引か脇芽の手入れか、肥料か、などを考えるのも、時間配分もすべて決めるのは自分。やった分だけ自分に返ってくる仕事はやりがいがあります。自然相手なので心配事もたくさんありますが、何もない畑の小さな種から芽が出て、大きく育て、収穫して、誰かが食べてくれる、というのは感動しますね。

【1日のスケジュール】

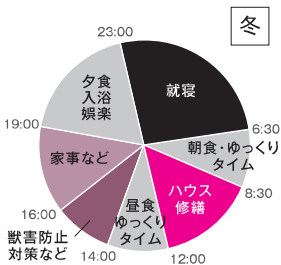
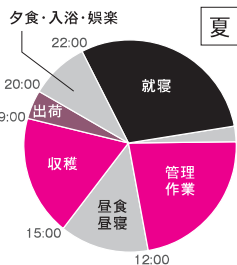


H30年就農
飛驒トマト

岩佐 太さん(45歳)

小坂町落合出身。高校卒業後、航空自衛隊に入隊。飛行機の整備をしていた。3年在籍後、実家に帰り、地元企業に就職するも、不景気で賃金が下がり、ガソリンスタンドへ転職。その後小牧の支店に転勤となり十数年勤めたが、家族が体調を崩したことを機にUターンする。就職先を探し企業フォーラムを訪れた際、農務課プースで農業の研修制度等を知り、就農を決意する。2年間の研修期間を経て、現在就農2年目。

【1日のスケジュール】



ほ場	小坂町落合
経営面積	64a
施設・機械	パイプハウス22棟 畦立機、動力噴霧器 灌水設備、軽トラク トラクター

Uターン後の職業に農業という考えは全然なかったです。農務課から研修制度や国の給付金、農業制度資金の話聞いたときはそこまで手厚いのかと驚きました。スタンド勤務時代は、毎日神経をすり減らして働いていましたけど、帰ってきた今はそういったストレスはゼロですね。ただ今年、(トマト)調子が思わしくなくて。初年度はおかげさまでうまくいったんですが、今年と同じやり方なのにこうも違うかと。今でも研修先の先生には相談にのっていただいています。先生ですらいまだに「毎年勉強」と仰いますから、これも経験ですね。新規就農者の輪もできてい

るので、仲間といつも情報交換しています。給付金(経営開始後5年間給付※要件あり)がある今、悪い年を学べるのはラッキーだと思います。就農後、一人でやってみてあらためて先生の凄さがわかることも多々ありますよ。先生方は益田地域でのトマトの作り方を長い間かけて確立されたわけですが、それを2年間の研修で惜しみなく僕たちに教えてくださるというのは、本当にありがたい制度。来年は先輩方のように人を頼んで、自分は管理作業に時間を割いて、秋まで長く採れるようにしたいです。農業は「やり方次第」というのが怖いところでもあり、面白いところでもあると思っています。



R元年就農
飛驒トマト

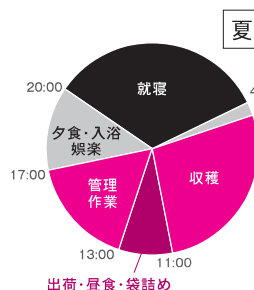
20代女性
就農者

県外出身。大学卒業後、農業法人に就職したが、独立経営を志すようになる。下呂市を選んだ理由は、友人に岐阜県に手厚い就農支援のある市町村があると聞き、県庁に電話で問い合わせたところ紹介されたのが下呂市だった。2年間の研修を経て、今年就農1年目。性格柄、堅実な働きぶりは営農指導員も感心するほど。着実に出荷量も増えている。

経営面積	25a
施設・機械	パイプハウス9棟、畦立機 動力噴霧器、灌水設備 軽トラク、管理機 トラクター

下呂市の就農支援は、研修先の先生が先輩方のハウスを見に連れて行ってくださったり、本当に親切で、とても安心できる環境でした。農業は昔から興味があって、これを言うとうごくネガティブにとらえられるかもしれないんですけど、とにかく一人でやる仕事に就きたかったんです。人との関わりは大切で、今こうして農業ができるのも先生をはじめ、たくさんの人たちに支えられているからなんです。「一人で作業」というのが自分に合っていると思います。繁忙期のタイムスケジュールがほぼ休憩なしなもの、気疲れしないから出来ることかもしれないです。普通に組織の中で働いていたら疲れてしまってとても無理です(笑) 1年目なのでまだまだ分からないことだらけですが、先が枯れた葉を根気よく取って見たら、同期の就農者と

【1日のスケジュール】



初めての冬の過ごし方を考え中

生育に差が出て! やった分だけ自分に返ってくるってこういうことか! と実感しました。初めてトマトが色み始めたときは、自分で働いて稼ぐことができるんだと嬉しかったです。私はこの先、面積を増やすことはあまり考えてなくて、一人でできる面積で管理作業に集中して単収を増やす、という方法を目指していきたいです。

地域集積協力金

【集積・集約化タイプ】

地域の話し合いにより、まとまった農地を機構に貸し付ける地域に対して交付

（改正前）

機構への貸付割合	交付単価
2割超5割以下	1.0万円/10a
5割超8割以下	1.4万円/10a
8割超	1.8万円/10a

（改正後）

機構の活用率		交付単価
一般地域	中山間地域	
20%超40%以下	4%超15%以下	1.0万円/10a
40%超70%以下	15%超30%以下	1.6万円/10a
70%超	30%超50%以下	2.2万円/10a
	50%超	2.8万円/10a



「農地中間管理機構」が農地の中間受け皿となり、所有者から農地を借り受け、担い手に貸し付けを行う事業を「農地中間管理事業」といいます。農地中間管理機構は、各都道府県に二つ設置されており、岐阜県は（社）岐阜県農畜産公社が指定されています。令和元年5月に法改正され、機構集積協力金の要件が大幅に緩和されたことから、かねてから事業活用の計画のあった下呂乗政地区で説明会を行いました。地権者、区長、担い手、県、市、推進委員が出席し、その場や戸別訪問等で同意を得た約14haを（社）岐阜県農畜産公社に貸付け、地域の4名の担い手に転貸されました。乗政の全農地の約15%にあたり、地域集積協力金が乗政地区に交付され、地域農業に役立てられる予定です。

下呂乗政地区中間管理事業活用事例



農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか？ 少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。

- 1 年間60日以上の農業従事
- 2 国民年金第1号被保険者
- 3 60歳未満

以上を満たせば
どなたでも加入できます。
農地権利等の条件はありません！

農業者年金は、加入者数・受給者数に影響を受けない個人ごとの積立方式の公的年金です。収めた保険料が運用され、将来受け取る仕組みです。左にある①②③を満たせば誰でも加入いただけます。貯蓄の感覚で加入し、税制上のメリット（保険料全額社会保険料控除）を受け、実質所得の向上を図りましょう。

農業者年金で老後の備えを

農地転用とは、農地を駐車場や資材置場など、農地以外のものにすることをいいます。このような農地転用を行う場合は、自己所有地であっても農地法の規定に基づく許可が必要です。農地法では、農地の生産力や周辺の土地利用状況等によって農地を区分しています。転用ができない農地もありますので、事前に必ず農業委員会事務局までご相談ください。また、農業委員会への申請の締切日は毎月20日となっています。なお20日が閉庁日の場合は前日が締切日となります。



農地転用には許可が必要です

〈編集後記〉

10月の委員改選を終え、新体制で今年も農地パトロール（利用状況調査）が始まりました。

今回の調査で、さらに荒廃に近い農地が増えたと感じます。下呂市も高齢化・担い手不足が進み、優良農地の維持管理が益々問題となります。

この問題の解決策として営農団体、新規就農者に託す方法があります。中山間地域の未整備の農地では借り手をお願いするのも難しいので、集落一体では場整備などを考えることが必要と思います。

それぞれの地域で新規就農者が頑張っています。農地維持、地域の活性化の一助になると思います。農業委員会も微力ながらお手伝いさせていただきます。（嶋田 浩）

●編集委員

大森 公治・嶋田 浩・川口 太三
二村 正明・高木 康則



農家の経営と暮らしに役立つ
週刊の農業総合専門誌です。
農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です！

農業者の視点でお届けします

週刊《金曜日発行》 月700円

お申込みは農業委員会まで

下呂市に
Uターン
したい方!

下呂市に
移住を
お考えの方!

地元新卒者
や転職
したい方!

下呂市で「プロの農家」になりませんか？



市内新規就農者増加中!!

下呂市では、国の事業の活用や、田舎暮らしが見直される今、新規に就農しようとする方が増加しています。

●新規就農者・研修生の受け入れ状況 (うち女性6人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
就農人数	1	1	4	3	5	4	2	6	6	32

研修生/現在8人 離農者/0人

●基幹品目

品目名	人数
飛驒トマト	24
飛驒ほうれんそう	3
水稻	1
畜産	3
花き	1
計	32

●出身地

出身地	人数
下呂市内	17
岐阜県内	2
他都道府県	13
計	32

農業をはじめするには

技術 資金 農地 が必要です。

それらを一からサポートするのが、
市・県・農業委員会・JAひだ・認定農業者協議会からなる

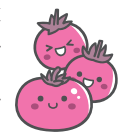
下呂地域担い手育成総合支援協議会です。

1 相談窓口

まずは、市農務課が相談に応じます。疑問や不安なことなどなんでもお問合せください。(品目によってはサポートできない場合があります)



市が主にすすめているのは特産物である「夏秋トマト(飛驒トマト)」です。夏秋トマトは、下呂市の気候から比較的安価な雨除けハウスで栽培することが可能で、一人の労力からでも安定した単収が見込めます。また、JA等、販売体制も整っています。



2 研修先をあっせんします

先進農家において、実践的な栽培技術や農業経営のノウハウについて1~2年間学んでいただきます。おためしの短期研修あり。

光熱水費
込み!!

3 研修生住宅を用意しています

使用料は1人200円/日。長期なら1人3,050円/月です。家具、家電付き。

4 就農支援制度があります

農業次世代人材投資事業(国事業)の手続等を行います。農業経営を始めるにあたり、開始の要件・条件にあった支援をします。



5 農地、空き家をあっせんします

地域の方々からの情報をもとに、われわれ農業委員会が借入のあっせんをします。

空地



6 経営開始後のサポート

県(普及指導員)、農協(営農指導員)が栽培技術指導や経営相談に応じます。

新規就農者紹介



H27年就農
飛驒トマト
ほうれん草

渡邊 昌敏さん(31歳)

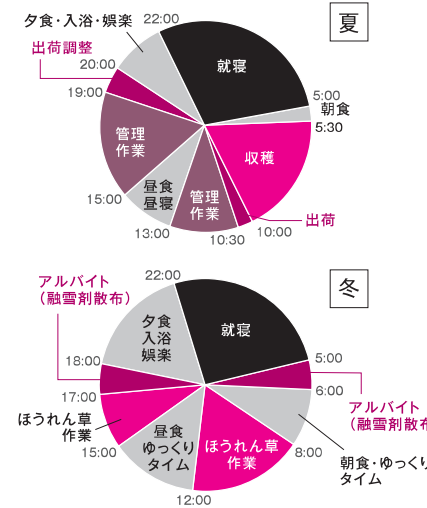
愛知県出身。大学卒業後、青果市場に就職し販売のノウハウを学びながら、就農場所を探していたところ、就農イベントで立ち寄った下呂市ブースで、担当者の熱意に惹かれ来市を決意。2年間の研修を経て独立し、就農5年目を迎える。夏はトマト、冬はほうれん草を栽培し、現在は近所の人をパート雇用するなど地域とも密接な関係を築いている。昨年結婚。今年8月には長男が誕生するなどプライベートも充実。

ほ場	萩原町桜洞、上村
経営面積	1.24ha
施設・機械	パイプハウス29棟、管理機、動力噴霧器、灌水設備、軽トラック、トラクター

下呂市を選んだのはズバリ「人」です。最初、愛知県内で探そうと就農窓口にお問い合わせなんですがピンとこなくて。下呂は市の担当者、研修先の先生、本当に親身になってくれました。就農してから、ほ場の近所に農家が多いこともあり、皆さん親切にしてください恵まれています。パート雇用の話も、ハウスの横を散歩で通りかかる人と世間話をする間柄になって、手伝える人知っているけどどう?って言うてくださったのがきっかけです。後から聞けば、研修先の先生の親戚だったんですけど(笑)これも縁ですよ。ありがとうございます。^

僕は農家になるのが夢だったので、今こうして農業をできることは素直に楽しい。トマトの状態をよく見て、今何が一番必要か、病気がでてないか、誘引か脇芽の手入れか、肥料か、などを考えるのも、時間配分もすべて決めるのは自分。やった分だけ自分に返ってくる仕事はやりがいがあります。自然相手なので心配事もたくさんありますが、何もない畑の小さな種から芽が出て、大きく育って、収穫して、誰かが食べてくれる、というのは感動しますね。

【1日のスケジュール】



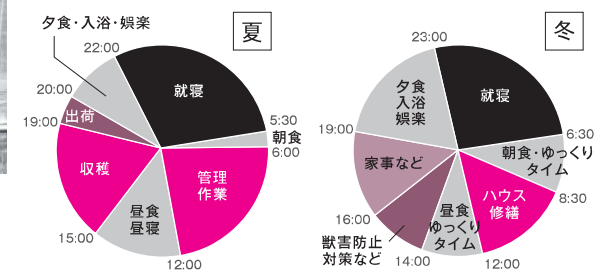
H30年就農
飛驒トマト

岩佐 太さん(45歳)

小坂町落合出身。高校卒業後、航空自衛隊に入隊。飛行機の整備をしていた。3年在籍後、実家に帰り、地元企業に就職するも、不景気で賞金が下がり、ガソリンスタンドへ転職。その後小坂の支店に転勤となり十数年勤めたが、家族が体調を崩したことを機にUターンする。就職先を探し企業フォーラムを訪れた際、農務課ブースで農業の研修制度等を知り、就農を決意する。2年間の研修期間を経て、現在就農2年目。

Uターン後の職業に農業という考えは全然なかったです。農務課から研修制度や国の給付金、農業制度資金の話を知ったときはそこまで手厚いのかと驚きました。スタンド勤務時代は、毎日神経をすり減らして働いていましたけど、帰ってきた今はそういったストレスはゼロですね。ただ今年、(トマトの)調子が思わしくなくて。初年度はおかげさまでうまくいったんですが、今年と同じやり方なのにこうも違うかと。今でも研修先の先生には相談にのっていただいています。先生ですらいまだに「毎年勉強」と仰いますから、これも経験ですね。新規就農者の輪もできてい

【1日のスケジュール】



ほ場	小坂町落合
経営面積	64a
施設・機械	パイプハウス22棟、畦立機、動力噴霧器、灌水設備、軽トラック、トラクター

るので、仲間といつも情報交換しています。給付金(経営開始後5年間給付※要件あり)がある今、悪い年を学べるのはラッキーだと思います。就農後、一人でやってみてあらためて先生の凄さがわかることも多々ありますよ。先生方は益田地域でのトマトの作り方を長い間かけて確立されたわけですが、それを2年間の研修で惜しみなく僕たちに教えてくださるというのは、本当にありがたい制度。来年は先輩方のように人を頼んで、自分も管理作業に時間を割いて、秋まで長く採れるようにしたいです。農業は「やり方次第」というのが怖いところでもあり、面白いところでもあると思っています。



R年就農
飛驒トマト

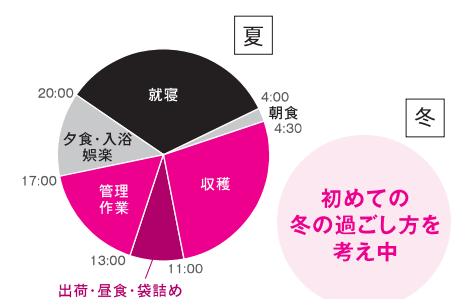
20代女性
就農者

県外出身。大学卒業後、農業法人に就職したが、独立経営を志すようになる。下呂市を選んだ理由は、友人に岐阜県に手厚い就農支援のある市町村があると聞き、県庁に電話で問い合わせたところ紹介されたのが下呂市だった。2年間の研修を経て、今年就農1年目。性格柄、堅実な働きぶりは営農指導員も感心するほど。着実に出荷量も増えている。

経営面積	25a
施設・機械	パイプハウス9棟、畦立機、動力噴霧器、灌水設備、軽トラック、管理機、トラクター

下呂市の就農支援は、研修先の先生が先輩方のハウスを見に連れて行ってくださったり、本当に親切で、とても安心できる環境でした。農業は昔から興味があって、これを言うとするのがネガティブにとらえられるかもしれないんですけど、とにかく一人でやる仕事に就きたかったんです。人との関わりは大切で、今こうして農業ができるのも先生をはじめ、たくさんの人たちに支えられているからなんです。「一人で作業」というのが自分に合っていると思います。繁忙期のタイムスケジュールがほぼ休憩なしなのも、気疲れしないから出来ることかもしれないです。普通に組織の中で働いていたら疲れてしまっても無理です(笑)1年日なのでまだまだ分からないことだらけですが、先が枯れた葉を根気よく取って見たら、同期の就農者と

【1日のスケジュール】



生育に差が出て! やった分だけ自分に返ってくるってこういうことか! と実感しました。初めてトマトが色み始めたときは、自分で働いて稼ぐことができるんだと嬉しかったです。私はこの先、面積を増やすことはあまり考えてなくて、一人でできる面積で管理作業に集中して単収を増やす、という方法を目指していきたいです。